



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：「1月25日革命」の若者を中心に形成された各種政治運動

(20日付シュルーク紙)

20日付現地独立系シュルーク紙は、1月25日の「革命」を契機としてタハリール広場に集まった若者を中心に形成された政治団体について紹介している。概要は以下の通り。

1. タハリール革命家党 (hizb thuwwar al-Tahrir; Tahrir Revolutionists Party)

- (1) タハリール広場に集まった若者の一部は、記者連盟 (journalists syndicate) から最初の政党を結成することを決定した。「タハリール革命家党」と名づけ、「自由、公正、発展」を政治綱領とする。マフムード・エルホダイリー (法学者)、マグディー・アフマド・フセイン (記者) 他、公人が参加。
- (2) 同団体は声明で、平和で安定的な権力の移行を実現する国軍の立場を評価し、また団体の特徴は、政治経済問題および個人の自由に関してはリベラル主義、社会の相互協力および社会構成の実現に関しては社会主義、社会問題および宗教問題においては保守主義であると述べた。
- (3) 党創設メンバー筋は、憲法改正および政党関連法が改正されるまでは、政党問題委員会に政党結成申請を行わないと述べた。

2. 「1月25日革命」から生じた7つの政治団体

(1) 革命理事評議会 (majlis umanaai al-thawra; Revolution Trustees Council)

ザカリヤ・アブドルアジーズ (判事)、ハサン・ナーファア (カイロ大学教授)、ビラール・ファドル (作家)、ムハンマド・アルブルタギー (同胞団)、サフワト・ヘガーズィー (イスラム学者)、ムハンマド・サアド (記者)、モナ・マクラム・オベイド (前人民議会議員) など、合計21人のメンバーで構成される。

メンバー筋によれば、同団体は、人民議会が全ての政治勢力の意見を反映するようになるまでは、政党結成申請を行う意図はないと述べた。

(2) 1月25日革命連盟 (iutilaf thawra khamsa wa ishreen yanaayr; January 25th Revolution Coalition)

同団体は、1月25日のデモの動員を行うため、1月25日の2週間前に結成された。大統領退陣の要求が実現した後は、1月25日の革命活動家の要求実現のためのフォローを行っている。

諸野党の若手メンバー、「変化のための国民連合」、ムスリム同胞団、「4月6日運動」のメンバーから構成される。中でも主要メンバーは17人であり、「4月6日運動」からアフマド・マーヘル、マフムード・サーミー、「エルバラダイ支持キャンペーン」からズィヤード・エルアリーミー、アブドルラフマーン・サミール、ムスリム同胞団若手から

ムハンマド・エルカサース、民主戦線党からシャーディ・エルガザーリー・ハルブ、アムル・サラーフ他である。

(3) **革命支持戦線** (gabhat daam al-thawra; Revolution Support Front)

同団体は2月13日に結成された。執行機関は存在しないが、「変化のための国民連合」、人民議会議員、1月25日革命参加者の3つの主要政治運動メンバーから構成されている。団体の目的は、1月25日革命の要求を実現するためにより多くの政治団体の支持を動員することである。

(4) **革命青年連合** (ittihad shabab al-thawra; Union of the Revolution Youth)

同団体は1月30日に設立された。メンバーとして、ワフド党、タガンマア党、ナセリスト党、民主戦線党からの各党員の他、無所属政治家が参加。同団体の目的は、「革命」の成果を（陰謀者によって利用されないように）保護し、要求が実施されるようフォローすること。また、団体の要求事項は、ムバーラク体制全体の退陣、国軍最高会議から1名の代表者および文民代表者から構成される暫定国家評議会 (presidential council) の設置、非常事態の撤廃、前体制に属していた閣僚の更迭、挙国一致内閣の設置、国家治安機構の解散、国民民主党の解散、6カ月以内の議会・大統領選挙の実施、新憲法の設定である。加えて、最低賃金を1200ポンドとすること、地方評議会の解散、社会保障の拡大、労働争議権の保障なども要求している。

(5) **エジプト革命家連盟** (tahalf thuwwar misr; Egypt' s Revolutionists Coalition)

同団体は約1週間前に結成された。約200人のメンバーがいる。同団体の目的は、移行期間の6カ月の間に革命の要求を維持することである。権力の平和的移行実現後は、政党に変わる可能性について検討がなされる。政治的要求のみに限定せず、タハリール広場に集まった多様なデモ隊の足並みを揃えることを目的としている。

(6) **自由エジプト連盟** (iutilaf misr al-hurra; Free Egypt Coalition)

同団体は、1月25日以前にフェイスブックのグループを通じて結成され、ネット上の参加者は12万5千人に達した。1月25日後は、タハリール広場のデモ隊も加わった。参加メンバーは皆、特定の政党や団体に所属していない。目的は、革命の要求が実現されるよう圧力を加えることである。同団体としては、今後、政党に変わることを予定していない。

(7) **最高調整委員会** (lagnat ulya li-ttansiq; Supreme Committee for Coordination)

同委員会は、上記6団体が各団体の要求事項を統一させるため18日に結成したものである。代表者の一人であるサイド・アブルアラーは、同委員会は定期的に会合を開催し、この会合には上記各団体から代表が1名ずつ参加すると述べた。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799